

陸地方、近畿地方、中國地方、四國地方及九州地方
ニ地方行政協議會ヲ置ク

前項ノ地方區分並ニ協議會ノ名稱及之ヲ附置スベキ
都廳府縣左ノ如シ

| 地方 | 區 | 分 | 名 | 稱 | 附置ノ都廳府縣 |
|------|------------------------------|------|------|-----|---------|
| 北海道 | 樺太 | 北海道 | 北海道 | 協議會 | 北海道廳 |
| 東北地方 | 青森縣、岩手縣、宮城縣 | 秋田縣 | 東北地方 | 協議會 | 宮城縣 |
| 關東地方 | 茨城縣、栃木縣、群馬縣、埼玉縣、千葉縣、東京縣、神奈川縣 | 山梨縣 | 關東地方 | 協議會 | 東京都 |
| 東海地方 | 岐阜縣、靜岡縣、愛知縣 | 三重縣 | 東海地方 | 協議會 | 愛知縣 |
| 北陸地方 | 新潟縣、富山縣、石川縣 | 福井縣 | 北陸地方 | 協議會 | 新潟縣 |
| 近畿地方 | 滋賀縣、京都府、大阪府、兵庫縣、奈良縣、和歌山縣 | 廣島縣 | 近畿地方 | 協議會 | 大阪府 |
| 中國地方 | 山口縣、島根縣、岡山縣 | 廣島縣 | 中國地方 | 協議會 | 廣島縣 |
| 四國地方 | 德島縣、香川縣、愛媛縣 | 高知縣 | 四國地方 | 協議會 | 愛媛縣 |
| 九州地方 | 福岡縣、佐賀縣、長崎縣、熊本縣、鹿兒島縣、沖繩縣 | 九州地方 | 九州地方 | 協議會 | 福岡縣 |

第二條 協議會ハ會長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 委員事故アルトキハ會長ノ承認ヲ受ケ部下ノ官吏ヲ其ノ代理者トシテ會議ニ參與セシムルコトヲ得

第三條 會長ハ協議會ヲ附置セラレタル都廳府縣(以下當該都廳府縣ト稱ス)ノ長官ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 會長ハ內閣總理大臣ノ監督ノ下ニ於テ會務ヲ總理ス

第四條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 會長ハ協議會ノ事務ニ關シ必要アルトキハ關係官衙ニ對シ資料ノ提出、説明其ノ他ノ共助ヲ求ムルコトヲ得

一 當該地方ニ於ケル廳府縣長官

第九條 協議會ニ主幹ヲ置ク當該都廳府縣ニ配置セラレタル地方參事官ヲ以テ之ニ充ツ

二 當該地方ニ付管轄權ヲ有スル財務局長、稅關長、地方專賣局長、營林局長、鑛山監督局長、地方燃料局長、遞信局長、海務局長及鐵道局長

第十條 會長ハ須要ニ應ジ第四條ニ規定スル關係官衙ノ高等官ニ幹事ヲ委囑シ會長及主幹ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理セシムルコトヲ得

三 當該地方ニ關係アル工務官事務所長、勞務官事務所長其ノ他ノ官衙ノ長ニシテ內閣總理大臣ノ指定スルモノ

第十一條 協議會ノ庶務ハ當該都廳府縣之ヲ掌リ長官官房又ハ知事官房ノ主管トス

第五條 會長ハ事業ノ性質ニ應ジ委員ノ一部ヲ以テ會議ヲ開クコトヲ得

第十二條 協議會ニ關スル事務ニ從事セシムル爲當該都廳府縣ニ臨時ニ屬專任二人ヲ増置ス

第十條 會長ハ須要ニ應ジ第四條ニ規定スル關係官衙ノ高等官ニ幹事ヲ委囑シ會長及主幹ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理セシムルコトヲ得

第十三條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外協議會ノ議事規則其ノ他協議會ニ關シ必要ナル事項ハ內閣總理大臣之ヲ定ム

地方行政協議會規程の制定

地方行政協議會規程は、昭和十八年七月三日付官報を以て左の如く制定せられた。

地方行政協議會規程 (昭和十八年七月一日)

第一條 地方行政協議會ノ會議ノ日時及場所ハ會長ノ命ヲ承ケ主幹ヨリ之ヲ通知スルモノトス

第二條 協議會ハ其ノ運営上適當ト認ムルトキハ定例會議日ヲ設クルコトヲ得

第三條 地方行政協議會令第五條ノ場合ニ於ケル關係委員ノ範圍ハ會議ノ都度會長之ヲ定ム

第四條 協議會ノ議案ハ會長ノ指揮ヲ承ケ主幹及幹事ニ於テ之ヲ作成スルモノトス

第五條 委員ニ於テ協議ヲ求メントスル事項アルトキハ豫メ案ヲ具シ文書ヲ以テ之ヲ會長ニ提出スベキモノトス

第六條 委員ハ努メテ會議ニ出席スベキモノトシ地方行政協議會令第六條ノ規定ニ依リ代理者ヲシテ會議ニ參與セシムルハ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ限ル

ベキモノトス

第六條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ主宰ス

會長事故アルトキハ主幹前項ノ職務ヲ代理ス

地方行政協議會令第五條ノ規定ニ依ル會議ノ場合ニ

於テハ會長ハ事宜ニ依リ其ノ指名スル關係委員ヲシ

テ議長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第七條 委員ハ議事ニ際シテハ大局の見地ニ立テ協調

ノ精神ヲ以テ之ニ當ルベキモノトス

第八條 協議會ハ決議ヲ以テ意思決定ヲ行ハザルヲ例

トス

第九條 特ニ決議ヲ要スル場合ニ於ケル議事方法ハ會

議ニ諮リ會長之ヲ定ム

決議ヲ行フ場合ニ於テハ地方行政協議會令第六條ノ

規定ニ依ル委員ノ代理者ハ之ヲ出席委員ト看做シ決

議ニ加ハラシムルモノトス

第十條 會長ハ事案ノ性質ニ應ジ當該地方ノ隣接地方

ニ於ケル都廳府縣長官又ハ其ノ代理者ノ出席ヲ求メ

會議ニ於テ意見ノ陳述ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ者ハ之ヲ參與委員ト稱ス

第十一條 會長ハ關係官吏其ノ他適當ト認メタル者ヲ

シテ會議ニ出席セシメ必要ナル説明又ハ意見ノ陳述

ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條 協議會ノ議事ヲ發表スル場合ニ於テハ會長

ノ指揮ヲ承ケ主幹之ヲ行フモノトス

第十三條 地方行政協議會令第六條ノ規定ニ依ル代理

者ハ事案ノ性質ニ應ジ當該事項ノ主任官ヲシテ之ニ

當ラシムルヲ例トス

第十四條 會長ハ協議會ノ處理事項中重要ナルモノハ

隨時内閣總理大臣ニ之ヲ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ内閣總理大臣ニ報告シタル事項ハ

内務大臣ニ之ヲ通報スルト共ニ其ノ他ノ各廳ニ關係

アル事項ハ之ヲ當該關係廳ニ通報スベシ

第十五條 本規程ニ定ムルモノヲ除クノ外會長ハ協議

會ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

國民徵用令中改正の件公布

國民徵用令中改正の件は、昭和十八年七月二十一日

付官報を以て左の如く公布せられた。

國民徵用令中改正ノ件

(昭和十八年七月二十日 勅令第六百號)

第二條 徵用ハ國家ノ要請ニ基キ帝國臣民ヲシテ緊要

ナル總動員業務ニ從事セシムル必要アル場合ニ之ヲ

行フモノトス

第五條中「徵用ノ解除ハ」ノ下ニ「厚生大臣自ラ之ヲ行

フ場合及第二十二條ノ二第一項ノ場合ヲ除クノ外」ヲ

加フ

第七條第一項中「國民職業能力申告令第二條第一號ノ

職業ニ従事スル者ニ付テハ其ノ者ノ就業地」ヲ「國民

職業能力申告令第二條第一號乃至第五號ニ該當スル要

申告者ニシテ職業ニ従事スルモノ又ハ現ニ使用セラ

ル官衙、管理工場若ハ指定工場ニ於テ行フ總動員業務

ニ従事セシムル爲メ徵用セラレベキ者ニ付テハ其ノ者ノ

同令ニ依ル就業地又ハ當該官衙、管理工場若ハ指定工

場ノ所在地」ニ、「東京府」ヲ「東京都」ニ、同條第二項中

「國民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ従事スル

場合ニ於テハ就業ノ場所」ヲ「國民職業能力申告令第

二條第一號乃至第五號ニ該當スル要申告者ニシテ職業

ニ従事スルモノナル場合ニ於テハ就業ノ場所」ニ、

「國民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ従事スル

者ニ付テハ就業地」ヲ「國民職業能力申告令第二條第

一號乃至第五號ニ該當スル要申告者ニシテ職業ニ従事

スルモノニ付テハ同令ニ依ル就業地」ニ改メ同條第三

項ヲ削ル

第七條ノ二 地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキ

ハ命令ノ定ムル所ニ依リ出頭命令書ヲ發シ徵用セラ

ルベキ者ニ之ヲ交付スベシ

地方長官ハ前項ノ出頭命令書ノ交付ヲ受ケ出頭シタ

ル者ニ付身體ノ狀態、居住及就業ノ場所、職業、技

能程度、家庭ノ狀況、希望等ヲ検査又ハ調査シテ服

務ノ適否ヲ判定シ從事スベキ總動員業務、職業及場

所ヲ決定シタル上徵用命令書ヲ發シ徵用セラレベキ者

ニ之ヲ交付スベシ

緊急ヲ要スルトキ又ハ前項ノ規定ニ依ル検査若ハ調

査ヲ爲スノ必要ナシト認ムルトキハ地方長官ハ前二

項ノ規定ニ拘ラズ直ニ徵用命令書ヲ發シ徵用セラレベ

キ者ニ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條ノ三 前條第二項ノ規定ニ依ル検査又ハ調査及

服務ノ適否ノ判定ニ關スル事務ニ従事セシムル爲メ

府縣ニ國民徵用官ヲ置ク

國民徵用官ハ保安部長タル警視廳部長、警察部長タル

北海道廳若ハ府縣ノ部長又ハ地方長官ノ指定スル警

視廳若ハ北海道廳ノ事務官、職業官若ハ技師若ハ地

方事務官、地方職業官若ハ地方技師ヲ以テ之ニ充ツ

第七條ノ四 厚生大臣管理工場又ハ指定工場ノ事業主

(事業主法人ナル場合ニ在リテハ其ノ代表者)ヲ徵用

シ當該工場ニ於テ行フ總動員業務ニ従事セシムルニ